

問題番号	問題文			正答	ページ	配点	図
	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3				
42	商品管理上の内部不正についての説明で正しいものはどれか。			3	65	1	
	会計処理をせずに商品を持ち出すのは不正であるが、試供品、商品サンプルなどはロスに影響を与えないため不正とはいえない	廃棄する商品は販売できず、その価値がなくなってしまったものなので、持って帰っても構わない	商品化作業を行う機能を持つ店舗では、定められた加工材料をより高価なものにしたり、もしくは増量、不当に安く売価をつけるなどをして特定の知人に購入させたり、後で自ら購入するといった不正もある				
43	レジの不正の手段の中で、レジ点検や現金実査でも容易に判明しないが、協力がいないとできないものはどれか。			3	67	1	
	不正な返品返金処理	レジの空うち	スウィートハーディング				
44	クレッシェーは不正要因のトライアングルとして体系化し説明しているが、正しく説明しているものはどれか。			3	68	1	
	(自己)正当化、動機、機会のトライアングルの三つの要素のうち、機会がなくとも犯罪は起きる	(自己)正当化、動機、機会のトライアングルの三つの要素のうち、機会がなくとも犯罪は起きる可能性がある	(自己)正当化、動機、機会のトライアングルの三つの要素のうち、どれか一つ欠けても犯罪は起きない				
45	内部通報制度の流れについて正しい順序はどれか。			3	72	1	
	①調査②経営トップからの従業員への周知③通報窓口への通報と受信④フィードバック⑤報告	①経営トップからの従業員への周知②調査③通報窓口への通報と受信④報告⑤フィードバック	①経営トップからの従業員への周知②通報窓口への通報と受信③調査④報告⑤フィードバック				
46	就業規則について正しいものはどれか。			3	74	1	
	些細なミスでも就業規則に懲戒処分と定められていれば、当然その処分が課される。	常時10人以上の労働者を使用する企業は、労働契約法に基づいて就業規則を定め、行政官庁に届けなければならない。	就業規則に定めのない理由で労働者を解雇した場合、裁判で解雇処分を無効とされる場合がある				
47	従業員、取引先など買い物客以外の人間の店舗への出入りの管理についての説明で正しいものはどれか。			3	75	1	
	従業員通用口や商品搬入口付近に警備員や事務室に常時従業員がいない場合は、通用口に防犯カメラなどを設置する対応で管理できる	従業員通用口や商品搬入口付近に警備員や事務室に常時従業員がいない場合は、決められた時間以外は施設してしまうにしても、売場出入口からの従業員の出入りは例外なく禁止すべきである	従業員通用口や商品搬入口付近に警備員や事務室に常時従業員がいない場合は、決められた時間以外は施設してしまい、出入りができないようにすることがよい				
48	店舗内で商品の値札を貼り変えるなどして不当に安い値段で支払いを済ませる、不正な返品などで金銭を得るような犯罪は刑法ではどの犯罪に当てはまるか。			3	77	1	
	窃盗(刑法235条)	使用窃盗(刑法235条)	詐欺(刑法246条)				
49	その店舗で以前万引を行った者が店舗に入ることの許諾についての説明で正しいものはどれか。			3	78	1	
	もし過去その店舗で万引をした人間を見つけた場合は、店長(店舗責任者)は入店を拒絶できる	警察に事件として通報し立件された場合は、入店を拒絶できるが、犯罪として立件されなければ拒絶できない	基本的人権を侵害するために入店を拒否することはできない				
50	推計では日本における商品ロスの主要因は何か。			3	79	1	
	従業員による不正	管理上のミス	万引など外部の人間による不正・不当行為				
51	全刑法犯に占める万引窃盗の比率はどのような傾向にあるか。			3	80	1	
	その年によって増減があり、安定してない	ここ11年ではあまり変化がない	年々その比率は高まっている				
52	「緊張感の高まり、快感、満足感を感じる事が目的で、中には万引した物自体にはあまり関心をもたない」とされる万引犯を何と呼ぶか。			3	81	1	
	前頭側頭型認知症	サイコパス	クレプトマニア				
53	「グループで計画的に店舗を狙った窃盗などの犯罪行為を繰り返し、不当に得たものを換金して現金などを得ること」などを「小売業への組織的犯罪」をなんと呼ぶか。			3	83	1	
	G R C (Group Retail Crime)	G R T (Group Retail Theft)	O R C (Organized Retail Crime)				
54	小売業が実施している上位の四つの万引防止予防策は何か。			3	87	1	
	「防犯カメラの設置」「脚部を頻りに行う」「従業員のお客様への声掛け」「社員などの店内巡回」	「防犯カメラの設置」「商品陳列の工夫」「従業員のお客様への声掛け」「ミラーの設置」	「防犯カメラの設置」「商品陳列の工夫」「従業員のお客様への声掛け」「社員などの店内巡回」				
55	お客に声掛けを行うときに重要なことは何か。			3	87	1	
	不審な行動をするお客を選んで必ず声をかけ、そっと監視する	補充など忙しいときは、作業をしながらでも、お客に背を向けてでも「いらっしゃいませ」の声をかける	作業が忙しくても、お客の顔を見て挨拶をする				
56	万引きの可能性のある挙動にスコーピングというものがあるが、スコーピングについての説明で正しいものはどれか。			3	88	1	
	できるだけ従業員やその他の客に対して背を向ける	右左と動き回る	キョロキョロ周りを見る				
57	万引を疑われるような行動をしている者を発見したときに最もよい行動はどれか。			3	91	1	
	万引しようとする者を見つからないように監視して、万引が実行されたら捕縛する	万引しようとする者を見つからないように監視して、万引が実行されたら、すぐに警備員、もしくは店長など店舗責任者に通報する。	相手に見えるように監視し、万引しようとする者が万引を断念するようにしむける				
58	店内の監視および警備についての説明で正しいものはどれか。			3	91	1	
	制服警備員も私服警備員も万引犯を捕縛し排除することを役割としている	ロスの原因が明らかに万引であると判明しているときには私服警備員を導入し、ロスの原因が十分にわかっていない時には私服警備員を導入すべきではない	制服警備員による店舗巡回は、買い物客やそこで働く従業員にとって「安心・安全」を印象付け、万引犯に対する強烈な牽制効果が期待できる				
59	多くの店舗は、売場に従業員は少なく、お客は自由に商品に触れることができるが、この方式を何と呼ぶか。			3	95	1	
	セルフ・ショッピング	フリー・ショッピング	セルフ・サービス/セルフ・セレクション				
60	ロス・プリベンションを学ぶ必要のある者についての説明で正しいものはどれか。			3	104	1	
	小売業におけるロス・プリベンションの専門家育成することを最優先で行うことが必要で、他の部署や小売業以外の人間は学ぶ必要はない	小売業に携わる者はロス・プリベンションを学ぶ必要があるが、小売業以外の企業の人間は学ぶ必要はない	小売業に携わる人間だけではなく、小売業以外の関係する企業の人間もロス・プリベンションを学ぶ必要がある				